

社会福祉法人

岸和田市社会福祉協議会

平成29年度事業報告書

社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会 平成29年度事業報告

1. 基本目標

誰もが安心して暮らし続けることができる福祉のまちづくり

2. 重点項目

①社会福祉事業を実施するための久米田拠点圏域新規拠点整備

効率的な事業運営及び総合的な相談支援を目的として介護保険事業、障害福祉サービス・地域包括支援センターなどの社会福祉事業を実施する事務所機能を統合する久米田圏域新規拠点整備を進めました。

②地域活動の担い手づくりのための取り組みと市民懇談会の継続開催

第4次岸和田市地域福祉計画・地域福祉活動推進計画の重点プログラムである、地域活動の担い手づくりと市民懇談会の継続開催に取り組みました。

事業実施期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

推進項目	事業名	事業目的	事業概要									
法人運営	法人運営事業	法人の健全運営のため、理事会・評議員会の開催を行うとともに、各種会議の開催、調査などを行いました。	<p>(1) 諸会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①理事会・評議員会の開催（理事会5回、評議員会2回実施） ②正副会長会議（5回実施） ③経営検討委員会の開催（2回実施） <p>(2) 監事の監査（1回実施）</p> <p>(3) 事務局体制の強化 プロジェクトチームの編成（福祉まつり、経営検討、ファンドレイジング）</p> <p>(4) 財政基盤の増強</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会員会費制の増強 <table border="0"> <tr> <td>一般賛助会員</td> <td>4,147人</td> <td>5,115,000円</td> </tr> <tr> <td>特別賛助会員</td> <td>290団体</td> <td>2,610,000円</td> </tr> <tr> <td>組織構成会員</td> <td>16団体</td> <td>140,000円</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ②共同募金運動の強化（配分金事業の検討） <p>(5) 調査・研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各種アンケート調査の実施 <p>(6) 心配ごと相談所（専門相談の運営）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①司法書士よろず相談 29件 ②行政書士相談 8件 ③一般相談 0件 	一般賛助会員	4,147人	5,115,000円	特別賛助会員	290団体	2,610,000円	組織構成会員	16団体	140,000円
一般賛助会員	4,147人	5,115,000円										
特別賛助会員	290団体	2,610,000円										
組織構成会員	16団体	140,000円										
善意銀行	善意銀行事業	寄付の受付及び払出しを行うとともに社協だよりにて寄附者掲載、啓発を行いました。	<p>(1) 善意銀行事業の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ①寄附の受付（一般寄附48件1,061,178円、指定寄附54件635,940円、物品寄附16件） ②払出し（助成）19件1,117,110円、（マイルーム食材・食料支援）27件315,499円 ③事業の啓発（社協だより、ホームページ） 									

<p>資金貸付事業</p>	<p>生活福祉資金貸付事業 小口生活資金貸付事業</p>	<p>低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯が地域において安定した生活を送れるよう生活福祉資金貸付による支援を行うとともに、支援が必要な人への総合的な支援が行えるよう、関係機関と連携し、事業を運営しました。</p>	<p>(1) 貸付 ①各種貸付金の貸付業務の実施。 総合支援資金 0 件 0 円、教育支援資金 34 件 21,780,000 円 生活福祉資金 29 件 9,609,000 円 緊急小口生活資金 12 件 1,175,000 円 臨時特例 0 件</p> <p>(2) 啓発、相談・支援 ①関係機関との連携による効率的な運営 (研修会の実施、情報交換の場の設置、修学資金説明会の実施) ②失業や病気など困難を抱える人々の相談・援助活動の実施</p>
<p>共同募金</p>	<p>共同募金配分金事業</p>	<p>各種募金を実施し、募金額の増額に取り組みました。 また、募金期間延長への取組みとして「岸和田っ子を地域ではぐくむ居場所づくりプロジェクト」を実施しました。</p>	<p>(1) 大阪府共同募金会岸和田地区事務局を担当 共同募金の実績額 11,823,481 円 (戸別 5,481,494 円 学校 297,044 円 街頭 591,518 円 法人 2,066,728 円 バッジ 2,426,000 円 その他 960,697 円) 岸和田っ子を地域ではぐくむ居場所づくりの実績額 5,096,111 円 (一口 2,618,993 円 バザー 441,670 円 街頭 218,730 円 クラウドファンディング 1,372,000 円 募金箱など 444,718 円)</p>

<p>地域福祉活動</p>	<p>地区福祉委員会事業 小地域ネットワーク 推進事業</p>	<p>住民が主体となつて行う福祉活動に対し、情報提供や研修等を通じて支援しました。</p>	<p>(1) 活動支援</p> <p>①各地区への活動助成 (24 校区、1,357 万円)</p> <p>②情報提供・組織の整備</p> <p>地区福祉委員会活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別援助活動ネット対象者数 4,917 人、ボランティア 1,316 人 ・グループ援助活動参加者数 79,728 人、ボランティア 4,956 人 <p>③きんきゅうキットの交付 (940 世帯に配布 ※累計 6,626 人)</p> <p>*対象：高齢者、個別援助活動対象者など</p> <p>(2) 各種会議・研修会の開催</p> <p>①地区福祉委員会連絡会の開催 (年 2 回、延べ 130 人参加)</p> <p>②地域福祉活動研修会の開催 (年 1 回、74 人)</p> <p>③誰もが集えるリビングフォーラム (年 1 回、72 人)</p> <p>④子育て応援団ネットワーク連絡会 (年 1 回、36 人)</p> <p>(3) 活動啓発</p> <p>①福祉掲示板の交付 (29 年度は交付なし／累計 327 基)</p> <p>②社協だより・ボランティア情報紙での活動紹介</p> <p>③電子媒体 (ホームページ・フェイスブック等) による活動紹介</p> <p>(4) 活動の連携</p> <p>地域支援専門職ネットワーク会議の開催 (事務局)</p> <p>社協地区担当者、CSW、地域包括支援センターが各圏域単位で連携を図ることを目的に開催 ※ () 内は構成員数</p> <ul style="list-style-type: none"> *全体会：年 1 回開催 *都市中核圏域 (15 人)：13 回開催 *葛城の谷圏域 (9 人)：10 回開催 *中部圏域 (6 人)：6 回開催 *北部圏域 (8 人)：12 回開催 *牛滝の谷圏域 (8 人)：9 回開催 *久米田圏域 (25 人)：年 6 回開催 ※あんしんネットワークを兼ねて開催 <p>(5) 第 4 次岸和田市地域福祉計画・地域福祉活動推進計画の進行管理</p> <p>①推進検討委員会 年 1 回、10 人参加</p> <p>②市民懇談会の継続開催に向けて、2 地区へ側面的支援を行った。</p>
---------------	---	---	---

	<p>地域福祉推進事業</p>	<p>福祉制度外のサービスの推進、セルフヘルプグループの支援、住民へ福祉の理解を深めるための各種事業を実施しました。</p>	<p>(1) 当事者組織支援事業</p> <p>①岸和田市介護者家族の会「みずの輪」の支援及び活動助成 定例のつどい年 19 回開催、延べ 268 人参加 総会（年 1 回 53 人参加） ※会員数 86 人(平成 30 年 3 月末現在)</p> <p>(2) 福祉教育推進事業</p> <p>①福祉教育推進校に対する活動支援及び活動助成（小中学校 35 校） 車椅子体験、アイマスク体験等 延べ 49 回を活動調整</p> <p>②福祉教育推進校担当者会議の開催 年 2 回、延べ 79 人参加</p> <p>③福祉教育基礎研修会・人権教育研修会を開催 95 人参加</p> <p>④小・中学校に向けた赤い羽根キッズ教室の実施 6 校実施</p> <p>⑤精神保健福祉分野の福祉教育プログラム開発に関するワーキング会議 年 9 回、延べ 119 人参加</p> <p>⑥未来づくり学校推進事業 10 校 14 プログラムに助成</p> <p>(3) 誰もがつどえるリビングの推進 2 団体へ助成、5 団体を日本赤十字社岸和田地区へ推薦</p> <p>(4) 岸和田っ子を地域ではぐくむ居場所づくりプロジェクト</p> <p>①企画会議の開催（全体での実施はなし、各拠点にて随時実施）</p> <p>②ボランティア研修（公開講座）の開催（年 2 回、32 人参加）</p> <p>③居場所の開催 * 回数は年間回数、人数は年間延べ人数 * ポカポーキッチン（49 回、792 人）* ほっとハウスやまだい（19 回、526 人） * COOKING SCHOOL ULU（12 回、85 人）* すまいるキッチン（5 回、70 人） * 春ちゃんキッチン（20 回、551 人）* 食堂ほっこり（28 回、431 人） * 白ゆり子供食堂（22 回、225 人）* いいね きーたん（4 回、238 人） * ナイトリビング DANCHI カレー亭（21 回、1,494 人）</p> <p>(5) 孤立をなくす家屋内リセット事業 6 件調整</p>
	<p>移送サービス事業</p>	<p>福祉車両を使用し、外出時に車いすが必要な人の外出を支援しました。</p>	<p>(1) 福祉車両による対象者の送迎（年間 303 件）</p> <p>(2) 移送ボランティア養成講座の実施（29 年度は実施なし）</p> <p>(3) 移送ボランティア交流会の開催（年 3 回 23 人）</p>

	<p>ボランティア活動事業</p>	<p>市民参画による地域課題の解決を目指し、ボランティアコーディネート及び活動者支援、人材育成・啓発事業等を行いました。</p> <p>また、災害時に地元のスムーズな復興に寄与することを目的とし、各種関係機関・団体と協働で災害時ボランティア活動支援体制の整備を行いました。</p>	<p>(1) 各種会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ボランティアセンター運営委員会（年2回、28人参加） ②ボランティアセンター企画ワーキング会議（年2回、20人参加） ③車いすユーザーも楽しめる岸和田祭実行委員会（5回、35人参加） <p>(2) ボランティアコーディネート・ボランティア・市民活動支援</p> <p>相談件数 来所 2,864件 電話相談 3,594件</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ボランティア相談受付（活動希望者・募集希望者） ②既存の活動実践者の活動支援・協働実践のコーディネート ③ボランティア連絡会の運営支援 <p>(3) 人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各種ボランティア講座の開催（9講座 開講日数125日延べ参加者人数 1,591人） ②市民ボランティア・地域コーディネーターの育成 ③ボランティア団体の運営に係るセミナーの開催（年3回） ④ボランティア体験プログラムの実施（受入施設・団体56 延べ参加者数169人） ⑤福祉施設ボランティアコーディネーター育成支援 29年度はミニセミナーを開催（1回4人） ⑤ボランティアスタイルきしわだの実施 *プログラムの実施（4プログラム）
--	-------------------	--	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">市民活動支援</p>	<p style="text-align: center;">ボランティア活動事業</p>	<p>市民参画による地域課題の解決を目指し、ボランティアコーディネート及び活動者支援、人材育成・啓発事業等を行いました。</p> <p>また、災害時に地元のスムーズな復興に寄与することを目的とし、各種関係機関・団体と協働で災害時ボランティア活動支援体制の整備を行いました。</p>	<p>(4) 調査・研究事業</p> <p>①企業との連携強化に向けたヒアリングの実施(29年度は実施なし)</p> <p>(5) 広報・啓発事業</p> <p>①ボランティア情報紙の発行(年3回)</p> <p>②市民活動ステーションの開催(年6回 延べ394人)</p> <p>(6) 防災対策事業</p> <p>①きしわだ災害ボランティアネットワーク企画会議の開催(年5回、延べ62人)</p> <p>②きしわだ災害ボランティアネットワークの開催(年1回、48人)</p> <p>③災害時市民たすけあい講座(災害VC設置・運営訓練)の開催(年1回、108人)</p> <p>(7) 台風21号水害大沢町におけるボランティア活動支援</p> <p>10月25日～11月2日の期間で延べ6日間活動</p> <p>25件の依頼、258人のボランティアが参加</p>
---	---	--	--

<p>指定管理業務</p>	<p>福祉総合センター運営管理事業（指定管理者）</p>	<p>高齢者、障がい者の継続的な社会参加ができる機会の場合また、生きがいがづくりやふれあい交流の場となるよう、各種講座を開講しています。今年度も、より多くの高齢者や障がい者が、多様な学習に参加できる活動の拠点施設として活用されるよう、様々な福祉情報の発信に努めました。</p> <p>また、利用者への定期的なアンケート調査を行い、必要な講座の企画やニーズを把握し、全市的な福祉の活動拠点施設として運営を行いました。</p>	<p>(1) 福祉総合センターの運営管理</p> <p>①貸し室の申し込み受付、施設の維持管理 団体利用状況年間 140,883 人、個人利用状況年間 18,926 人</p> <p>②敷地の維持管理</p> <p>③高齢者・障害者の就労実習（体験）受入れ及び営繕業務での就労の場の提供</p> <p>④利用者アンケートの実施 年1回、372人回答</p> <p>(2) 各種講座の開催</p> <p>①福祉センター講座・特別講座の企画（年1回、49人）</p> <p>②各種講座、相談の実施（年間延べ人数） 健康運動講座 5,996 人、身体障害者体力維持講座 788 人 料理講座 422 人、茶道講座 512 人、華道講座 579 人 書道講座 615 人、陶芸講座 252 人、民謡講座 410 人 視覚障害者ヨガ講座 37 人、障害児粘土あそび講座 20 人</p> <p>③ボランティア養成講座（点訳 56 人、手話 1,254 人、朗読 97 人 要約筆記 28 人、拡大写本 8 人、視覚障害者 PC サポート 8 人 自助具 5 人）の開催</p> <p>④健康相談 215 人、スポーツ健康相談 15 回 30 人</p> <p>(3) 各種大会、クラブ活動の支援</p> <p>①各種大会の開催（囲碁大会、老人卓球大会、ゲートボール大会）</p> <p>②クラブ活動への支援（老健クラブ、囲碁クラブ、書道クラブ、陶芸クラブ）</p> <p>(4) 啓発</p> <p>①福祉まつりの実施（11/12） 1,500 人参加</p> <p>(5) 点訳図書・録音図書製作事業 （点字図書 12 タイトル、デージー図書 51 タイトルを図書館に寄贈）</p>
---------------	------------------------------	---	---

<p>指定管理業務</p>	<p>高齢者ふれあいセンター 朝陽運営管理事業 (指定管理者)</p>	<p>高齢者を対象に教養講座や講習会の開催、クラブ活動の場の提供等により、社会参加を促進するとともに、利用者の仲間づくり、生きがいづくりを支援し、地域に根付いた高齢者の活動拠点としての施設運営を行いました。</p>	<p>(1) 高齢者ふれあいセンター朝陽の運営管理 ①運営懇談会の開催 年4回、延べ37人参加 ②利用者アンケートの実施 年1回、132人回答 ③施設利用状況 個人利用状況 13,755人(年間) 団体利用状況 637団体、10,331人(年間延べ)</p> <p>(2) 事業の周知、啓発 ①ふれあい朝陽新聞の発行(年4回) ②ふれあいセンター「朝陽まつり」の開催 12/3 230人参加</p> <p>(3) 講座、教室の開催 *回数は年間、人数は延べ ①高齢者健康体操講座 30回、567人 ②ふれあい教室「うた」11回、540人 ③ふれあい教室「レクリエーション」9回、238人 ④誰でもできる手縫い教室 2回、34人 ⑤男の料理室 11回、83人 ⑥男の3B体操教室 20回、228人 ⑦にこにこ若返り体操教室 10回、77人</p> <p>(4) 各種大会・行事等の開催 *回数は年間、人数は延べ ①バンパー大会 2回、44人 ②ふれあいシアター 3回、127人 ③福祉まるごと相談ひろば「いこい」 12回、454人 ④1歩・2歩・散歩の会 1回、25人 ⑤特別講座「悪質商法から身を守ろうパート2」 1回、22人 ⑥認知症予防講座「チョコの世界へようこそ」 1回、38人 ⑦いきいき100歳体操 90回、1,573人</p> <p>(5) 地域との連携 ①地区市民協議会、福祉委員会への参加</p> <p>(6) 避難訓練等の実施 ①AED講習会(普通救急救命I)今年度未実施 ②下野町5丁目主催避難訓練参加 1回10人(館利用者と職員)</p>
---------------	---	---	--

	<p>①地域包括支援センター 受託事業</p>	<p>地域住民のニーズを踏まえ、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを一体的に切れ目なく提供していく「地域包括ケアシステム」の構築を実現するよう努めました。</p>	<p>【包括的支援事業】</p> <p>① 介護予防マネジメント業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次予防マネジメント ・いきいき百歳体操の立上げ支援（都市中核 15 件、久米田 3 件） ・アンケート未回収 訪問（久米田 41 件） <p>②総合相談支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるネットワークの構築（あんしんネットに参加） ・実態把握 <table border="1" data-bbox="1234 584 2085 828"> <tr> <td data-bbox="1234 584 1391 683">都市中核</td> <td data-bbox="1391 584 2085 683">・徘徊高齢者等見守りネットワーク登録者のケアマネジャーと同行訪問。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1234 683 1391 828">久米田</td> <td data-bbox="1391 683 2085 828">・徘徊高齢者等見守りネットワーク登録者の家族やケアマネジャー、本人にヒアリングを行う。 ・要支援判定者の基本情報を入力し、傾向調査を行う。</td> </tr> </table> <p>③権利擁護業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の防止及び対応（都市中核 5 件、久米田 6 件） ・消費者被害の防止及び対応（都市中核 1 件、久米田 1 件） ・判断能力を欠く人への支援（成年後見制度利用援助） <p>都市中核：2 件対応 うち申し立て件数 0 件 久米田：4 件対応 うち申し立て件数 2 件</p> <p>④包括的・継続的ケアマネジメント</p> <table border="1" data-bbox="1205 1251 2056 1350"> <tr> <td data-bbox="1205 1251 1357 1299">都市中核</td> <td data-bbox="1357 1251 2056 1299">ケアマネ勉強会（14 回）事例検討会（8 回）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1205 1299 1357 1350">久米田</td> <td data-bbox="1357 1299 2056 1350">ケアマネ勉強会（12 回）事例検討会（6 回）</td> </tr> </table>	都市中核	・徘徊高齢者等見守りネットワーク登録者のケアマネジャーと同行訪問。	久米田	・徘徊高齢者等見守りネットワーク登録者の家族やケアマネジャー、本人にヒアリングを行う。 ・要支援判定者の基本情報を入力し、傾向調査を行う。	都市中核	ケアマネ勉強会（14 回）事例検討会（8 回）	久米田	ケアマネ勉強会（12 回）事例検討会（6 回）
都市中核	・徘徊高齢者等見守りネットワーク登録者のケアマネジャーと同行訪問。										
久米田	・徘徊高齢者等見守りネットワーク登録者の家族やケアマネジャー、本人にヒアリングを行う。 ・要支援判定者の基本情報を入力し、傾向調査を行う。										
都市中核	ケアマネ勉強会（14 回）事例検討会（8 回）										
久米田	ケアマネ勉強会（12 回）事例検討会（6 回）										

地域包括支援センター	①地域包括支援センター 受託事業	<p>地域住民のニーズを踏まえ、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを一体的に切れ目なく提供していく「地域包括ケアシステム」の構築を実現するよう努めました。</p>	<p>【他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築】</p> <p>都市中核：都市中核圏域 キャラバンメイト連絡会議開催（5回） 久米田：久米田圏域 キャラバンメイト連絡会議開催（5回）</p> <p>【地域ケア会議の実施】</p> <table border="1"> <tr> <td>都市中核</td> <td>2回・独居高齢者の在宅生活における限界点。 ・自宅にお風呂がない方等の入浴困難者をどう支えるか。</td> </tr> <tr> <td>久米田</td> <td>本年度は実施なし</td> </tr> </table> <p>【生活支援体制整備業務】</p> <p>都市中核：会議4回 研修受講2回</p>	都市中核	2回・独居高齢者の在宅生活における限界点。 ・自宅にお風呂がない方等の入浴困難者をどう支えるか。	久米田	本年度は実施なし
	都市中核	2回・独居高齢者の在宅生活における限界点。 ・自宅にお風呂がない方等の入浴困難者をどう支えるか。					
久米田	本年度は実施なし						
②居宅介護予防支援事業	<p>高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自立した生活が継続できるよう、自立支援を目的とした介護予防計画を作成するとともに、福祉サービス事業者との連携や地域の社会資源を活用しながら、総合的な介護予防を行うことができるように努めました。</p>	<p>【予防給付ケアマネジメント】</p> <table border="1"> <tr> <td>都市中核</td> <td>5,257件（直1,525件 委託3,732件）</td> </tr> <tr> <td>久米田</td> <td>3,328件（直1,109件 委託2,219件）</td> </tr> </table> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の開催（都市中核12回、久米田3回） ・徘徊SOS登録世帯交流会（久米田：3回） ・ニュースレターの発行（都市中核6回、久米田4回） ・きんきゅうキットの説明会（久米田2回） ・見守活動同行（都市中核20回） <p>【指定居宅介護予防支援事業所の運営】</p> <p>①介護予防プランの作成 ②居宅介護支援事業所へ委託したプランの支援、指導及び進捗状況把握</p>	都市中核	5,257件（直1,525件 委託3,732件）	久米田	3,328件（直1,109件 委託2,219件）	
都市中核	5,257件（直1,525件 委託3,732件）						
久米田	3,328件（直1,109件 委託2,219件）						

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">権利擁護センター</p>	<p style="text-align: center;">権利擁護センター事業</p>	<p>日常生活自立支援事業、成年後見制度に関する相談支援、法人後見事業、市民後見人の活動支援を行い、岸和田市における権利擁護支援体制の推進にあたりました。</p> <p>また、なんらかの支援が必要な人の孤立を予防し、社会参加と自立支援を目的に、居場所づくり事業の企画、運営を行いました。</p>	<p>(1) 日常生活自立支援事業 (契約件数 260 件 内訳：認知症高齢者 112 件、知的障害者 53 件、精神障害者 95 件)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①福祉サービスについての情報提供、助言 ②福祉サービス利用手続きの代行 ③日常的な金銭管理 ④通帳、印鑑等の預かり（保管） ⑤事例検討会の実施 ⑥成年後見制度への適切な移行支援 <p>(2) 成年後見制度の利用支援</p> <ol style="list-style-type: none"> ①成年後見制度に関する相談支援や申立て支援 ②権利擁護支援検討会議の実施（12 回開催） ③権利擁護に関する研修・セミナーの開催 （市民向けセミナー1 回、専門職向けセミナー2 回） <p>(3) 法人後見事業の運営 （受任件数 15 件 内訳：後見 11 件、保佐 3 件、補助 1 件）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①受任事案についての後見活動 ②事業運営委員会（2 回開催）、受任審査会の開催（3 回開催） <p>(4) 市民後見人養成及び活動支援（受任件数 9 件）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市民後見人活動の相談支援、助言（専門相談 39 回実施） ②市民後見人バンクの管理、運営 ③市民後見人バンク登録者研修会、交流会実施（年 7 回） ④市民後見人養成講座の開催 <p>(5) 居場所づくり事業の運営（開所日 93 回、延べ利用数 600 人）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①居場所づくり事業の企画・運営 ②高齢者・障害者の就労実習の企画・調整 <p>(6) 生活支援専門員及び生活支援員の配置（専門員 7 人、支援員 8 人）</p>
---	---	---	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">介護保険事業</p>	<p style="text-align: center;">やすらぎ東光通所介護事業</p>	<p>要介護・要支援状態となった場合においても、利用者様が可能な限り在宅で、自立した日常生活を送ることができるよう、必要な日常生活上の介護及び心身機能の維持回復並びに家族の心身の負担軽減を図りました。</p> <p>また、関係機関との綿密な連携を図り、利用者様の自立した在宅生活の支援を行いました。</p>	<p>(1) やすらぎ東光デイサービスセンターの運営（保健センター内）</p> <p>①週5日開所、サービス時間5～7時間型、利用定員35人 （開所日数：244日、通所介護利用者延べ人数5,204人）</p> <p>②介護予防通所介護事業の実施 （開所日数：244日、介護予防通所介護利用者延べ922人）</p> <p>③介護予防・日常生活支援総合事業の実施 （開所日数：221日、通所型サービスA利用者延べ303人）</p> <p>③岸和田市介護保険事業者連絡会への参画 （研修会1回、交流会2回）</p> <p>④行事、レクリエーション、制作等プログラムの実施 （お花見、七夕会、納涼会、クリスマス会、喫茶レク、外食レク、鍋レク、浪切ホール展望台散歩レク、感謝祭、音楽レク、クッキングレク、バイキングレク、おもちつき、東光地区子育てサロン交流会、岸和田産業高校吹奏楽部演奏会、和泉高校ダンス部訪問、五風会保育園交流会、ハンカチ制作、事業者連絡会作品展出品・見学、琴好クラブ・琴遊クラブボランティア訪問 等）</p> <p>⑤やすらぎ東光だよりの発行（第66～77号毎月発行）</p> <p>⑥ボランティア、実習生等の受け入れ （個人ボランティア93人、ボランティアグループ40人、就労支援実習12人）</p> <p>⑦通所介護計画書、利用状況報告書の作成 （通所介護計画書→随時作成、利用状況報告書→毎月末作成）</p> <p>⑧デイサービス事業の運営方針の検討</p>
---	---	---	---

介護保険事業	居宅介護支援事業 (ケアプラン岸和田市社協)	<p>介護（予防）を必要とする市内の高齢者等が、居宅において日常生活を営むために必要な保健医療サービスまたは福祉サービスを適切に利用できるように、社会福祉協議会の特性を活かし、地域との連携を図ったケアプラン作成に取り組みました。</p>	<p>(1) ケアプラン岸和田市社協の運営</p> <p>①居宅介護支援事業（介護計画作成、給付管理及び相談援助）</p> <p>②事例検討会議等の開催（月4回実施）</p> <p>③介護支援専門員専門研修等への参加 (専門研修課程Ⅰ修了者1人、専門研修課程Ⅱ修了者2人、主任介護支援専門員更新研修1人)</p> <p>④特定事業所加算の取得</p> <p>(2) 人員体制・実績</p> <p>①介護支援専門員6人（常勤5人、非常勤1人）体制による公平中立な立場で、自立支援につながる適切な介護計画の作成</p> <p>②介護計画（年間作成数1,849件 月平均154件） 予防計画（年間作成数166件 月平均14件）</p>
	ふれあい朝陽通所介護事業	<p>要介護状態となった場合においても、利用者様が可能な限り在宅で、自立した日常生活を送ることができるよう、必要な日常生活上の介護及び心身機能の維持回復並びに家族の心身の負担軽減を図れるよう事業を実施しました。</p>	<p>(1) ふれあい朝陽デイサービスセンターの運営</p> <p>①週5日開所、サービス時間5～7時間型、利用定員18人 (開所日数：242日、通所介護利用者延べ人数3,241人)</p> <p>②介護予防通所介護の実施 (開所日数：242日、介護予防通所介護利用者延べ人数528人)</p> <p>③会議の開催及び研修等への参加 (看護師会議・スタッフ会議・正職会議・昼食献立会議：毎月 研修会：1回、岸和田市介護保険事業所連絡会への参加等)</p> <p>④季節ごとの行事等の実施開催 (お花見、昼食レク(BBQ、鍋)、七夕、納涼会、敬老会 クリスマス会、制作レク、作品展示会、夕食レク等)</p> <p>⑤機能訓練の実施 {ペダル漕ぎ、体操、階段昇降、筋力トレーニング(セラバンド等)}</p> <p>⑥ボランティア、実習生及び職場体験等の受入れ(随時) ボランティア28人(エステ含む)、散髪ボランティア20日(利用者106人) 歯科ボランティア4日(利用者16人)、中間的就労33日(参加者2人)</p>

	障害福祉サービス事業	<p>障害者が在宅生活を継続する事が出来るよう、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生が可能となるよう、サービス提供・支援を行いました。</p>	<p>(1) 障害者支援センター岸和田市社協の運営</p> <p>①障害者総合支援法に基づく居宅介護、重度訪問介護、移動支援サービスの提供</p> <p>利用者数 90 人以上目標、利用者数 91 人</p> <p>サービス提供責任者 2 人配置</p>
CSW	コミュニティソーシャルワーカー設置事業	<p>市内の要援護者に対する個別支援や住民活動のコーディネートを行うほか、制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組みました。</p>	<p>(1) いきいきネット相談支援センターふれあい朝陽の運営</p> <p>①相談ひろば「いこい」の実施（年 12 回、年間参加者数 454 人）</p> <p>②CSW連絡協議会への参加 月 1 回参加</p> <p>③地域での戸別訪問、相談支援の実施（年間相談件数 140 件）</p> <p>④地域住民活動との協働・支援</p> <p>⑤要援護者等に対する見守り・発見、相談から適切なサービスへの「つなぎ」が機能する体制づくり</p>

<p>生活困窮者自立支援事業</p>	<p>生活困窮者自立支援事業</p>	<p>生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施するとともに地域における自立・就労支援等の体制づくりに取り組みました。</p>	<p>(1) 自立相談支援事業 新規相談受付件数 453 件、 新規相談申込件数 91 件 支援決定・確認件数 95 件、支援継続中ケース数 49 件 生活困窮者就労訓練事業の認定</p> <p>(2) 学習支援事業（マイルーム）</p> <p>①運営場所・開催日・開催時間 福祉総合センター 毎週 2 回（月・木） 17:30～20:30 八木市民センター 毎週 1 回（水） 17:30～20:30 学習支援（社会的居場所づくり事業）を実施</p> <p>②登録者人数・開催回数・食事提供人数 福祉総合センター登録者数 30 人、開催回数 88 日開催 延べ参加人数 1,574 人参加、延べ食事提供数 1,213 人 八木市民センター登録者数 13 人、開催回数 45 回開催 延べ参加人数 253 人参加、延べ食事提供数 183 人</p> <p>③イベント開催回数・担当者会議開催回数 4 回（7/31、11/21、2/21、3/12） 生活福祉課・家庭教師のトライとの連絡会議 12 回</p> <p>④進学・進級状況 中学 3 年生：7 名（5 名高校進学、2 名専門学校進学） 高校 1 年生：8 名、高校 2 年生：4 名、高校 3 年生：3 名 （高校 1, 2 年生は全員進級、高校 3 年生は全員就職）</p> <p>⑤五ツ木模試受験費用助成生徒数 平成 29 年 11 月 12 日実施分：中学 3 年生 3 名 平成 30 年 2 月 4 日 実施分：中学 1 年生 6 名、中学 2 年生 10 名</p>
--------------------	--------------------	---	---

障害者福祉サービス	一般相談支援事業所	<p>委託一般相談支援事業所として、障害児・者や家族の方の地域生活に関わる相談業務を実施し、関係機関とも連絡調整を行いながら、さまざまな生活課題の解決に向け、相談支援を行いました。</p>	<p>「相談センター社協のだ」の運営</p> <p>①障害児・者や家族、関係機関等からの相談窓口として、相談支援業務を実施。</p> <p>年間相談数（人数／対応件数）</p> <p>身体 11人／154件、知的 35人／546件、精神 77人／1,214件</p> <p>児童 3人／3件、その他（重複障害等）8人／110件</p> <p>②社会生活力を高めるための支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理訓練の実施 <li style="padding-left: 20px;">「らくらくクッキング」①6/8～7/6 参加者数 延べ14人 <li style="padding-left: 20px;">②9/21～10/19 参加者数 延べ14人 ・社会参加、余暇活動充実のための場作り ★発達障害者等のための「トレインクラブ」の開催 12回、77人 ★外出企画 2回、13人 ★啓発活動 1回、5人（福祉まつりに参加） <p>③社会保険労務士による障害年金相談（奇数月 第2金曜日実施）</p> <p>相談件数／7件</p>
		<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく、指定一般相談支援事業者の指定を受け、地域移行支援及び地域定着支援を実施しました。</p>	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく、地域移行支援及び地域定着支援の実施。</p> <p>①地域移行支援 実施件数1件</p> <p>②地域定着支援 実施なし</p>